



左：野田本部長とノーチン・ヤバリ  
アフガニスタン事務所前代表  
右：女性のコミュニティ協議会

## 最新のニュース

- アフガニスタンにおける10年間の活動報告書が完成！
- ミャンマーで日本政府支援によるコミュニティの水と衛生改善事業が始まります！
- 皆様からの義援金を中国とミャンマーにおける「いのちの水」事業で活用させていただきます！

## アフガニスタンにおける10年間の活動を振り返る

国連ハビタット福岡本部は、本部設立後の1997年から2007年にわたるアフガニスタンでの活動の成果と教訓を振り返る報告書「アフガニスタンのコミュニティとともに活動した10年」を作成し、アフガニスタン政府関係者や支援国・機関代表等に配布しました。

国連ハビタットは、1992年よりアフガニスタンで継続的に活動を行っています。ムジャヒディンやタリバン政権時代にも滞ることなく、人々の最も切迫した声に耳を傾けてきました。1995年には、アフガニスタンの都市部でコミュニティ協議会の設立を開始し、住民主体の住宅建設や水供給施設の整備等を実施しました。

アフガニスタン移行政府は、そのコミュニティと協働する活動を認め、2002年、住民主体のまちづくりを目指す「国家連帯プログラム（NSP）」の策定・実施を国連ハビタットに要請しました。同事業は、アフガニスタン政府と緊密な連携を取りながら進められ、6年後にはアフガニスタンの代表的な開発事業となりました。コミュニティ主体を開発の基礎とした同事業のもと、人々は自分たちの「まちづくり」を責任持って担うようになり、コミュニティ内に連帯感が生まれました。

2009年4月現在、国連ハビタットはアフガニスタンでの最大の事業規模を誇る開発機関のひとつとなりました。カブールに本部を置き、19の県事務所と23の地区事務所に実施拠点を有し、21県で18事業を実施しています。約1,000名の職員（内、200名が女性職員）が、日々、現場でコミュニティとともに活動しており、今後も治安状況に十分配慮しながら事業を実施していきます。



国連ハビタット福岡本部、国際どんたく隊に参加しました。

（博多どんたく港まつり、  
2009年5月3日）



住民主体で実施するインフラ再建事業（アフガニスタン）

## ミャンマーで日本政府支援事業を開始

国連ハビタット福岡本部は、日本政府支援を受けて、ミャンマーで「コミュニティの水と衛生復旧プロジェクト」を開始します。

ミャンマーの農村地帯では、生活用水を雨水に頼っていますが、2008年5月のサイクロン・ナルギスにより雨水の採取・貯水施設等が被害を受けたために、乾季を通じて水不足が深刻な問題になっています。6月には雨季が始まりますが、貯水池や井戸、住宅脇の雨水採取システムが被害損傷しているため、水の確保が困難になることが危惧されています。

本事業では、安全な水と衛生施設の供給を通じ、デルタ地帯に住む家族の健康状態改善を目的とすると共に、衛生や健康に関する地域住民の意識向上に努めていきます。デルタ地帯250のコミュニティを対象に学校・村の貯水池・井戸等を修復・設置するとともに、必要な世帯には雨水採取システムやトイレなどの衛生設備の修復・設置を行います。また、水不足が深刻な10のコミュニティには給水活動を実施します。



サイクロン・ナルギスにより被災した  
ミャンマー・デルタ地帯の水と衛生環境を改善  
する。

## 「いのちの水」事業

国連ハビタット福岡本部は昨年7月より2年間の予定で「いのちの水」事業を推進しています。この事業を支援する福岡ハビタット研究会に寄せられた義援金5万米ドル(約490万円)が4月末に国連ハビタットに送金されました。

国連ハビタットは、この義援金を中国とミャンマー等において活用させていただきます。

### \* 中国: 四川大地震で被災した徳陽市に安全な水を

四川大地震により徳陽市45万人の水供給を担う水浄化施設が深刻な被害を受けました。義援金で中央水質試験場の整備を行うとともに水質管理設備使用に関する職員の訓練を行います。本事業により、徳陽市住民全員に安全な水を確保できます。

### \* ミャンマー: サイクロンで被災した学校の水供給施設の整備

サイクロン・ナルギスによって、デルタ地帯のコミュニティ用貯水池は深刻な塩害を受けました。日本からの義援金により、国連ハビタットが現在建設中の学校施設8棟に雨水収集の水供給設備とトイレ等の衛生設備を整備します。本事業によって、これらの学校で学ぶ1,520人の児童だけでなく、対象地区住民約3,600人が安全な水を飲むことができるようになります。

世界の5人に1人が、安全な水にアクセスできない深刻な状況を改善すべく、国連ハビタット福岡本部は今後も活動を続けていきます。引き続き、国連ハビタットの活動にご理解・ご支援賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

Water for Life  
UN-HABITAT  
United Nations Human Settlements Programme

いのちの水  
プロジェクト

ひと、水、笑顔  
はじめよう。

世界では5人に1人が安全な水を飲むことができません。

生活に欠かせない「いのちの水」。  
国連ハビタットは、世界中の人たちの安心して水を飲み、安全に暮らせる「まちづくり」を応援しています。  
国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当) <http://www.fukuoka.unhabitat.org>

国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当)  
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1 アクロス福岡 8階  
Tel: 092-724-7121; Fax: 092-724-7124  
Homepage: [www.fukuoka.unhabitat.org](http://www.fukuoka.unhabitat.org)  
E-mail: [habitat.fukuoka@unhabitat.org](mailto:habitat.fukuoka@unhabitat.org)